

学校関係者評価報告書

学校法人 麻生塾
(麻生情報ビジネス専門学校)

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況	- 3 -
1. 学校関係者評価の目的と基本方針	- 3 -
2. 学校関係者評価委員名簿.....	- 3 -
3. 学校関係者評価委員会の実施状況	- 3 -
4. 学校関係者評価委員会の実施方法	- 4 -
5. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方	- 4 -
II. 学校関係者評価委員会報告.....	- 4 -
1. 重点項目について	- 4 -
2. 基準項目について	- 5 -

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的と基本方針

1) 目的

①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、麻生情報ビジネス専門学校専門学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。

②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2) 基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

2. 学校関係者評価委員出席者名簿

区分	氏名	所属(役職)	出席
業界関係者	牛島 賢二	社団法人福岡県情報サービス産業協会 (企画調査委員会 委員長)	出席
業界関係者	荒井 秀和	Training Center Japan (事務局長)	欠席
業界関係者	馬場 伸一	NPO法人 九州組込みソフトウェアコンソーシアム (事務局長)	出席
業界関係者	小林 憲一	小林憲一税理士事務所 (所長)	出席
業界関係者	岩永 茂敏	リコージャパン株式会社 (福岡支社 MA 営業部 公共担当室長)	出席
業界関係者	菊本 健司	株式会社アルファクス・フード・システム (マーケティング営業戦略部 部長)	出席
業界関係者	今治 智隆	株式会社ヴェイス (代表取締役 社長)	出席
高等学校	大山 明	三井中央高等学校 (学校長)	出席
地域住民	浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会 (会長)	出席
卒業生	中園 晴久	平成6年度 情報経理科卒業	出席
保護者	中西 はるみ	情報工学科4年 在校生 保護者	出席

※区分別、五十音順、敬称略

※オンライン・対面のハイブリッドで実施

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

実施日時：2020年 9月3日(木) 15:00 ~ 16:00

場 所：麻生塾福岡キャンパス 1号館 4階 146教室

4. 学校関係者評価委員会の実施方法

学校関係者委員の皆さまに、2018年度の実績に対する自己点検評価の結果を学校から報告し、評価結果に対する意見をいただく。

5. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方

2019年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

II. 学校関係者評価委員会報告

1. 重点項目について

【評価結果・取組み状況】

- ・アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーについては、学校理念に基づき各ポリシーを作成し公開を実施した。
- ・学生及び校長代行による授業評価を行い授業環境の課題を明確にし、結果の検証をした。
- ・事業計画に掲げている「教員のコアスキルを把握し業務を標準化」年間コマ数、科目数、科目の難易度で教員の業務負荷を可視化・標準化を行った。
- ・引き続きコアスキル・タスクリストの継続取組が必要。

【委員からの意見】

- ・計画に基づき実行され、また第三者によるチェック等の工夫がされており、公開についても評価できる。
- ・目標数値の設定については継続しつつ達成率のモニタリングも継続すること。

【改善の方策】

- ・コアスキル・タスクリストに基づく人材育成・採用の継続取組を行う。
- ・教職員の確保は重要事項でも有り、今後も継続的・計画的な採用を行っていく。
- ・モニタリングの仕組みについては、法人本部との連携にてより効率的・迅速的な仕組みを構築する。

2. 基準項目について

基準 1 教育理念、目的、育成人材像

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組み状況】

- ・学校の教育理念等について明文化し、新入生に対しては学生便覧を通じて周知をしている。
- ・グローバルシティズンベーシック教育を通じて、麻生塾の学生としてふさわしい考え方を育てている。

【委員からの意見】

- ・グローバルシティズンベーシック教育の内容について他校に無い取組としても高く評価する。本取組が開始されて継続更新がされているか留意してほしい。
- ・企業と連携し、入社後のキャリアも企業・学校が連携すればより活性化されるのではないかと思う。

【改善の方策】

- ・グローバルシティズンベーシック教育については、教職員の定期的に研修にて指導力の向上を図るとともに指導内容の更新も十分理解を深めていく。

基準 2 学校運営

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組み状況】

- ・コアスキル・タスクリストにて業務の効率化の基本施策を確定し業務の効率化を図っている。
- ・事業計画を策定しており、毎月のモニタリングシートにて進捗の確認を継続し、適時課題を確認し対策を講じる。
- ・採用、人事評価、事務職員の教育についても人事グループ・教育推進グループと協働し適正な取り組みを継続している。

【委員からの意見】

- ・教職員のみならず事務職員の資質向上に取り組みについて評価する。
- ・職種、職位毎のスキル習得目標を設定しているか。
- ・スタッフの負荷には配慮できているのか。
- ・モニタリングシートでの対策内容については、四半期・半期・年間と定期的なチェックができているか。

【改善の方策】

- ・引き続き事務職員に対して研修を実施し、資質向上を図るとともにキャリア形成を行う。
- ・モニタリングシートを基に、課題の抽出、対応を定期的に行う。

基準 3 教育活動

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組み状況】

- ・専攻分野に関する企業・関係施設等や業界団体から継続した業界ニーズをヒアリングにて実践的教育内容の見直しを行っている。
- ・リメディアル教育について複数回実施しているが、実施回数及びその方法・内容を検証し改善変更を行っている。
- ・授業アンケート・ミニアンケート、校長代行の視察をもとに指導方法について、教育活動部会と連動しつつ管理職にて指導要領の改善・実施を図っている。
- ・判定の漏れ、間違いの防止対策としてグループ校での「ひやりはっと」事例を教職員で周知し、該当ケースが発生した場合には重要事項としてメール及び会議にて共有を行っている。
- ・新人教員については学内学外での研修に参加し既に実施し判定基準に差異が無いよう育成を行っている。
- ・法令及び学校の理念・目的の達成に必要な基本的ノウハウについてはグループにて実施されているシステムを有効的に漏れなく活用している。

【委員からの意見】

- ・企業が必要としている学生を育成する為に、企業と連携し教育課程を編成しており、就職率向上はその結果と見ている。
- ・PDCA サイクルが出来ており、継続的に回すことで今後も教育の質を確保してほしい。
- ・新人研修（無形の知的財産の継承）の充実を図ってほしい。
- ・市場の状況とニーズに合わせた学科の改善・計画等が出来ており、遵法精神に合わせた進め方考えを実施している。
- ・次年度については新型コロナ感染拡大防止の環境下での対策に期待する。

【改善の方策】

- ・新人教職員研修及び、OJTにて教職員の教育力維持を確保する仕組みを強化する。
- ・新型コロナ感染拡大防止の環境下での教育の質を維持したシステム・運用を確立していく。

基準 4 学修成果

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組み状況】

- ・退学率の改善に向けては前年度比較にて悪化しておりより徹底した対策が必要。
- ・離職率は前回調査より良化しており一定の成果が見受けられる。

【委員からの意見】

- ・検定取得・コンテスト結果・優良企業への就職・就職率アップ等、麻生塾の教育活動について引き続き自己点検の継続を望む。
- ・新型コロナ感染拡大防止の環境の中、授業の出席率と参加の意欲向上が重要と考える。
リモートでの学習で学生の士気を維持することを問題点とし改善に取り組んでいることを評価する。
- ・退学者・離職者の理由及び良化したポイントを報告してほしい。
- ・離職率について、離職理由等の分析を行い、更に改善するよう取り組んでほしい。

【改善の方策】

- ・リモートでの学習による、学生の成果及び評価を分析し、遠隔授業の質を向上する。
- ・離職調査を継続して行き、良化・悪化双方の要因・対策・成果の取組を行う。

基準 5 学生支援

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組み状況】

- ・行政機関や外部機関（行政書士）とも連携し、障がいがある学生（潜在者含め）及び留学生の指導に関するナレッジを共有していく。
- ・就職支援に関しては専任スタッフを配置し、求人票の獲得や会社情報の提供を行うなど在校生への就職指導を行っている。

【委員からの意見】

- ・在校生への多面にわたる支援・卒業生への支援を評価する。
- ・社会的な課題でもある発達障がい者への取り組みをさらに期待する。

【改善方策】

- ・次年度以降、経済環境の悪化も想定されており、卒業生の再就職支援については再度原稿システムの見直しと、仕組みの適性を確認し、必要に応じ就職グループの指導の基、運用・規定を改正していく。
- ・発達障がい学生へのナレッジ共有に取り組んでいく。

基準 6 教育環境

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組状況】

- ・在校生の増加にともない必要な設備投資改修を含め検討する。
- ・図書館およびキャリアサポートセンターの利用活性化に向けて支援部門と協働し対策の実施・実行を行い利用率の向上を確認する。
- ・災害、感染症発生時を含めて緊急連絡網の管理の徹底を行う事を目的にリスクマネジメント委員会で法人内での統一した運用管理を確立する。

【委員からの意見】

- ・昨年より改善がみられ評価する。
- ・図書館の蔵書については必要に応じ専門書を増やしてほしい。
- ・キャリアサポートセンターと図書館が併用での利用を評価する。学生自ら図書館へ出向き利用する機会が増えれば学力向上に期待できる。
- ・次年度含め、新型コロナ感染拡大防止対応のための教室・施設稼働運用の工夫が必要と思う。また、学外での指導についても徹底をお願いしたい。

【改善の方策】

- ・図書館、キャリアサポートセンター含め、新型コロナ感染拡大防止を図りつつ、より認知度を上げ利用率の向上に取り組む。

基準 7 学生募集

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組状況】

- ・学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適正に学生募集を行っている。
- ・各学科構成の妥当性について、カリキュラムや単位制での課題と効果を検証し改善を図っている。

【委員からの意見】

- ・出口（卒業・就職）を意識した募集を評価する。
- ・引き続き学生・社会のニーズに合わせたカリキュラム編成に期待している。

【改善の方策】

- ・業界のニーズに応えるべく、定員数や選考基準などの見直しの必要があるかをカリキュラム会議や学科検討会議の中で継続的に検証していく。
- ・カリキュラムの公開についてホームページの公開内容を更新する。

基準 8 財務

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組状況】

- ・年度予算に従って管理運営が厳格に行われており、また部門長にて月次での予算管理が行われている。
- ・監査についても定期的に実施をしている。

【委員からの意見】

委員の方からの意見は特になし。

【改善の方策】

特に問題点はないが、年度および中期計画を策定し、今後も適切な管理・運用を行っていく。

基準 9 法令遵守

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組状況】

- ・支援部門と協働し関係法令についての改正に伴う情報共有を継続して行っている。
- ・グループ会社から外部監査を受け、結果に必要な課題解決に取り組んでいる。

【委員からの意見】

- ・引き続き、第三者の監査を継続に取り組んでほしい。
- ・麻生グループのリソースを活用してほしい。

【改善の方策】

特に問題点はないが、必要に応じ監査を行い、適切な管理・運用を行っていく。

基準 10 内部質保証

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組状況】

- ・担当教職員を中心に自己点検・評価を行っており、問題解決のために共有を図っている。
- ・課題解決については学校関係者評価委員会で説明を行い、改善案をともに考える仕組みを整えている。
- ・結果の公表については、ホームページで外部に向けて公表している。

【委員からの意見】

委員の方からの意見は特になし

【改善の方策】

自己点検・評価の課題について改善が不十分なものもあるため、教職員全体で改善の意識を持ち、課題の解決に取り組んでいく。

基準 1 1 社会貢献・地域貢献

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組状況】

- ・ボランティア活動については地域イベントに毎年ボランティアとして参加している。

【委員からの意見】

- ・ボランティア活動は義務になる事のないように進めてほしい。

【改善の方策】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため「お仕事スタジアム」は中止となったが、広報グループと協働し、今後も同様の社会貢献について方法・運用を検討し実行していく。

基準 1 2 国際交流

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組状況】

- ・2018年度より開始した留学生専門学科での就職内定・在留資格の更新に関する事例をマニュアル化し、リーガルに関するナレッジを共有している。
- ・受入・在籍管理に関しては日本語教育センター・学生支援グループと協働し適正な管理を維持継続している。
- ・学生の健康管理・生活指導含め留学生担当教職員と協力し各担任にて指導を行っている。

【委員からの意見】

- ・国際交流・留学生に対する支援を評価する。
- ・留学生の主な就職先の報告がほしい。
- ・留学生について日本人の学生との交流の機会を増やし「グローバル」を実践してもらいたい。

【改善の方策】

- ・当該委員会にて留学生の主な就職先の報告を行う。
- ・留学生を日本人の学生との交流の機会を増やし「グローバル」を実践する。